

森のたより



2014年7月1日発行
 発行者：流山市立森の図書館
 指定管理者：株式会社すばる
 住所：流山市東深井991
 電話：04-7152-3200

第三回

千年企画 流山の馬に関する史跡紹介



流山市にある馬にまつわる史跡を紹介する企画の第3回目です。
 今回は諏訪神社をご紹介します。

諏訪神社

流山市駒木 655 番地
 東武鉄道 豊四季駅下車 300m



諏訪神社は人々の間で古くから「おすわ様」と親しまれてきました。

祭神は健御方命（たけみなかたのみこと）で、社伝によると「大同年間（806～810）に天武天皇の皇子高市皇子の子孫が政変により関東に下って、松戸、名都借と移り住み最後に駒木に定着したので、ここを氏神として信州諏訪から額面を奉還して祭った」のがはじまりとされています。

境内は一万坪あまりでうっそうと大樹が繁り、中でも、巨松は過ぎし千年余りの昔を思い起こさせてくれます。社殿は、手前より外拝殿、拝殿、本殿となり、中でも拝殿・本殿は江戸時代建築の典型的なもので、本市有形文化財に指定されています。夏の日差しを避けて、深い緑の境内を散策してみたいかがでしょう。

源義家献馬の像と鞍掛の松

神門を入ると北村西望作の、大きな源義家献馬のブロンズ像が目にはいります。

寛治年間、源義家が鎮守府將軍として奥州に向かう際、この地で人と馬を集め、社殿に戦勝を祈って任地に向かいました。その後、勝利を得て帰る時馬と馬具を奉納し、松の木に鞍をかけたことから、その松を鞍掛の松と呼ぶようになったとあります。

また、別の説として源義朝自ら諏訪明神に社参して名馬を神前に引いて、社僧を召し出して法案を捧げ、鞍を松に懸けたとあります。いずれにしても、「鞍掛の松」は武人の信仰を集めたようです。



源義家献馬の像

参考資料

「こんにはながれやま」

流山市教育委員会

「おすわさま」略記

諏訪神社社務所

流山のおかし『流山の史跡をたずねて』

流山市博物館市史編さん係

第4回流山ジャズフェスティバル2014

森の JAZZ コンサート

出演：織絵ポーランドカルテット

織絵ポーランド (Pi・Vo) / 森朗 (Gui) / 藤田わたる (Ba) / 大野孝 (Dr)

日時：7/27 (土) 17:00~18:00 (16:30 開場)

入場料：500円 (当日徴収)

定員：70名

受付方法：7/12 (土) 9:30~

森の図書館カウンターにて、利用者カード確認後、整理券 (1人2枚まで) 配布

皆様のご協力により、NPO法人 3.11 こども文庫への寄付金が 11,102円集まりましたので、納金させていただきました。

皆様の暖かいお心、ありがとうございました。

自働サービスご利用明細票
 ご利用いただきましてありがとうございます。

お振替目録 2014年7月	お振替内容	お振替金額	お振替日
1	お振替内容	11,102	04/23/14
お振替先	みずほ銀行 千住支店 普通 12345678 IBAN: JP09 7000 0000 0000 0000 0000		14:33
ご依頼人	株式会社すばる TEL: 04-7152-3200		
おつり	¥65		

印紙の貼付は不要です。
 ※お振替内容に間違いがある場合は、お振替後3ヶ月以内にお知らせください。